



宇宙

Vol.52

●題字は深町正喜氏



日田の雪景色 (小南達矢氏 撮影)

■ 理事長メッセージ 2

■ 院内研修会 3

■ 病院の仕事紹介 4

第4回 介護福祉士

■ 聖陵会慰安旅行紹介 5

■ 聖陵トピックス 6

■ 日田散歩 ③⑧ 8

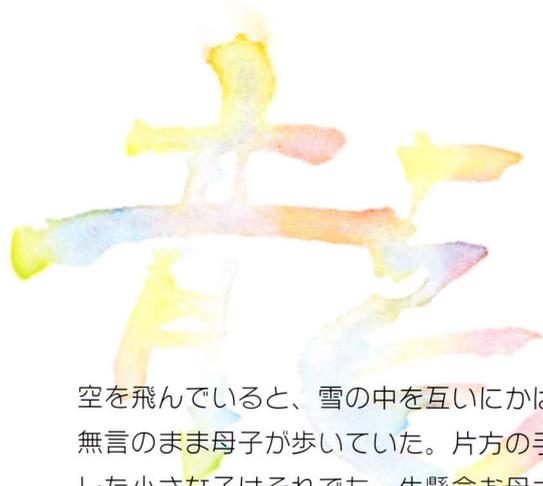
悪郡代?それとも...

■ かんたんレシピ no.4 3

リメイク茶わんむし

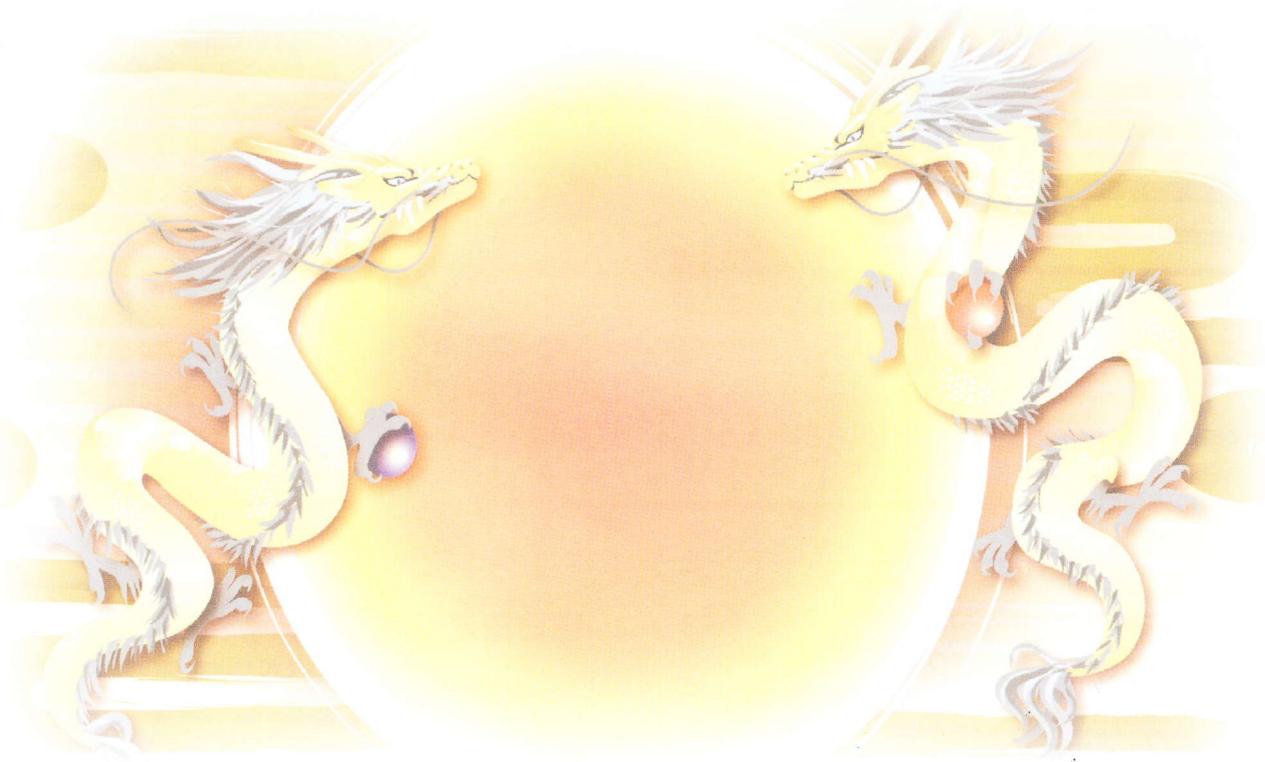
竜はどこに？

魔法使いの竜パフは、慈恩の滝の裏に住んでいる。いつもゴロゴロ寝ているのに時ならぬ騒ぎに目が覚めた。「地震」「津波」「逃げろ」「高台へ行け」などと言う言葉が遥か北の地から錯綜して聞こえてきた。この国に大変な事が起こっている。パフは自分が何をすべきか考えた。空気をきれいにする、水をきれいにする、食物をきれいにする、人の心をきれいにする、ボランティアの人に力を与える、町を清掃する・・・きりが無い。そして、パフは自分が何をやっても長続きをしない事を知っていた。でも、何かをしたい、しかし何をすべきか分からない。とりあえず東北へ向った。そこで見た光景に胸がつぶれそうになった。泣きながら



空を飛んでいると、雪の中を互いにかばいながら無言のまま母子が歩いていた。片方の手袋を失くした小さな子はそれでも一生懸命お母さんの手を握っていた。パフは翼を広げ二人を雪から守ろうとした。その時、自分が変わったと思った。しばらくして、子供はパフを見つけ「アリガトウ」と言った。パフを見る事が出来ないお母さんは不思議そうに空を見た。そして、このような運命の中で感謝の気持ちを持ち続ける子供に何かを感じた。どうやら竜は一人一人の心の中に住んでいる様だ。

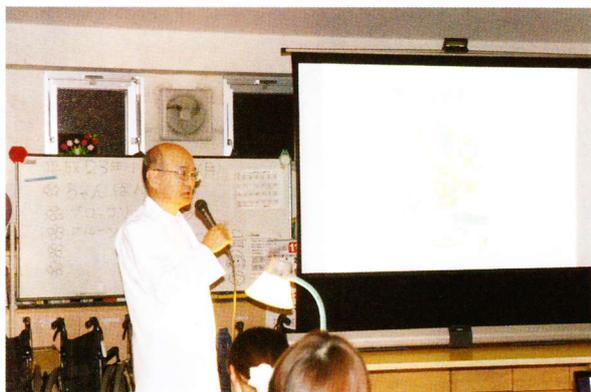
理事長 岩里正生



11月12日に岩里病院ダイケア室にて、院内研修発表会が行われました。今回の発表は4つの議題がありました。

1つ目は、特別講演として九州大学病院の皮膚科・深川修司先生が来て下さり、褥創についてのお話を聞くことが出来ました。スライドを使って症例をわかりやすく説明していただき、褥創に対する知識や治療方法も詳しく知る事ができて大変勉強になりました。

2つ目は、事務による診療報酬についての話でした。毎月のレセプトで減点されることによって、年間で大変な金額が減額されていることがあると



このことでした。減点を少なくするためには、事務だけでなく、先生方や看護師をはじめ、各部署の協力が必要不可欠な事がわかりました。それぞれの連携の大切さを学べるいい機会になりました。

3つ目は、院内感染を防ぐために回診車の廃止を検討した事例についての話がありました。回診車の使用については様々な見解がある中、当院の現状と回診車の利便性を考慮した結果、今後も継続して使用することに決まったようです。

4つ目は、小南先生による9つのことわざを医療現場に例えてのお話でした。先人の教えは大切であると改めて感じ、更に気が引き締められました。

これら9つの
ことわざの意味、
分かりますか??

1. 猿も木から落ちる
2. 急がば回れ
3. 生兵法は怪我のもと
4. 仏の顔も三度まで
5. あばたもえくぼ
6. 古い袋はあちこち綻びを直さなければいけない
7. 木を見て森を見ず
8. 急いては事を仕損じる
9. 飲んだら乗るな乗るなら飲むな

** 院内研修プログラム **

- 1、人権啓発推進DVD「私が私らしくあるために ～職場のコミュニケーションと人権～」
- 2、講演

① JRE 「わかりやすい褥創の基礎知識」

九州大学皮膚科学教室 医師 深川修司

②事務 「当院のレセプトの現状と対策 ～査定減には全部署の協力が不可欠～」

医事課 山永朱理・松原千秋

③看護部 「回診車廃止に向けての追究と廃止出来ない現状 ～K医師と回診車と私～」

看護師 中原清香

④安全管理 「事故を防ぐ先人の9つの教え」

岩里病院副理事長 小南達矢



こんなことをやっています！

介護福祉士とは

入所者の1日をお世話しています。個人のレベルに合わせて、優しく介護しています。

介護福祉士のお仕事

8:30 出勤
臥床介助



9:00 申し送り
環境整備
シーツ交換

10:00 トイレ介助
10:30 離床介助



11:10 食事介助
口腔ケア



12:00 昼休み
13:00 オムツ交換
14:00 カルテ記録

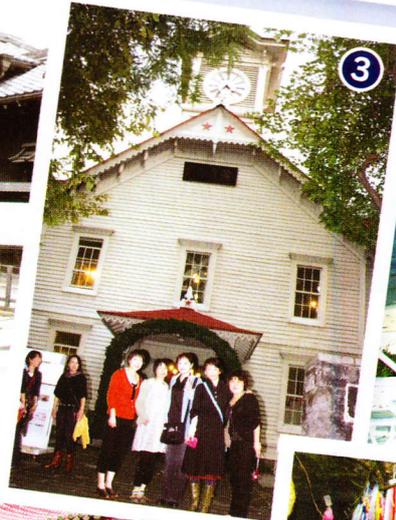


15:00 オヤツ介助
16:00 ミニカンファレンス
16:30 オムツ交換
離床介助
夜勤者へ申し送り
17:10 夕食介助
17:30 日勤終了



後は、夜勤者、遅出職員に引き継ぎます。お願いいたします。

聖陵会慰安旅行紹介



聖陵会では、毎年、レクレーション委員会が、職員のために頭を悩ませ、みんなが楽しめ・何かを感じ・学ぶことができる慰安旅行のプランを考えてくれています。去年の旅行は7カ所で、どれもみんな楽しい旅行になりました。今年はどんなところへ行けるのか、今から楽しみです♪

- ① 7月10日 日帰り旅行：劇団四季「ウィキッド」観劇とグランドハイアットビューフェランチの旅
- ② 7月16～17日 壱岐旅行：海鮮料理にマリンスポーツ三昧、島ならではの楽しみ満喫♪の旅
- ③ 9月9～11日 北海道旅行：大自然の道央と札幌の旅
- ④ 9月18～19日 筑豊旅行：炭鉱の歴史と北九州散策のゆっくり旅
- ⑤ 10月1～3日 台湾旅行：異国文化を楽しむ旅
- ⑥ 10月9～10日 角島旅行：約5kmの絶景ウォーキングと萩・下関の美食めぐりの旅
- ⑦ 11月5～6日 沖縄旅行：沖縄の戦争について学び、平和を考える沖縄・南部戦跡めぐりの旅

◆銀河ふれあい運動会 大盛況！！

「銀河」開所時から13年、アニマルセラピー・バス遠足・親子レクなど色々と行事を計画してきたものの、運動会は今回初めて！

就学児、未就学児その御家族、そしてスタッフやボランティアさん、総勢100人以上が続々と日隈小学校体育館に集合。初対面の方、久しぶりに会う方々…。子ども達の頑張りをみんなで温かく応援したり、日頃なかなか見られないお父さんお母さん達の“本気の走り”（それ以上に負けず嫌いのスタッフ達）に大興奮。体育館は笑顔と声援でいっぱいになりました。本当に会場中の人達の心が触れ合えた、清々しい日曜のひと時となりました。



こども発達・支援センター「銀河」

平成10年秋に市の委託事業“児童デイサービス”としてスタート。その後、支援費制度、障害者自立支援法と目まぐるしい制度改正の中ではありますが、子どもの発達に悩む親御さんの身近な相談場所でありたいと取り組んでいます。

I部は未就学児が単独通園（小集団を生かした丁寧な関わりで支援）…定員10人

II部は就学児の放課後の過ごす場所として（個々に合わせた活動）……定員10人

※平成24年度制度改正施行予定

◆花月クリニックバス遠足

平成23年11月20日に花月バス遠足で呼子イカの活き造りと唐津に行ってきました。

今回で2回目となりますが、参加人数は患者さん27名、花月推進委員会、聖陵会のボランティア職員合わせて47名でした。

行く前より「何十年ぶりに旅行に行くんよ」「今腰が痛くなったら旅行に行かれんばい」「血圧は大丈夫ですか？」など、こんなにも楽しみにしていただき、嬉しいやら感謝の気持ちで一杯でした。

当日は天気心配でしたが晴天でしたし、呼子イカは新鮮でとても美味しかったです。

唐津の曳山展示場では14台の曳山が展示されており「唐津くんち」の際使用されるそうです。国の重要無形文化財に指定され、木組みの上に数百回も和紙が張り重ね漆が塗られているそうです。とても迫力があるものでした。

そして唐津神社の参拝、マリンセンターおさかな村での買い物。お土産を選んでいる皆さんの顔は生き生きとしていました。

もしかして今回の旅行の中で一番良い顔だったのかもしれない。

いつももらってばかりだからあげたいと嬉しそうに話してくれました。

怪我をする方もなく、無事にバス遠足が出来た事、皆様の協力に感謝致します。

また来年も、ご参加お待ちしております。

聖陵花月クリニック

吉富美智子



聖陵会 大運動会

昨年10月22日に岩里病院、花月クリニック、聖陵ストリームの全職員で運動会を開催しました！6チームの色別に分かれて①ぐるぐるバット②ムカデ競争③運命競争④リレーボール⑤チーム対抗リレーと競技を行い、みごと勝利を手にしたチームはチーム対抗リレーも1位を獲得した山田先生率いる白チームでした！日頃の運動不足を解消し、気持ち良い汗を流しました。



忘年会

12月9日（金）にマリエールにて、聖陵会のスタッフとゲストの方々、約240名での忘年会が行われました。

余興では、勤務後に沢山練習した、AKB48や少女時代、レディガガの踊りがありとても盛り上がり楽しく過ごす事が出来ました。

今年は色々な事があった1年でしたが、皆さんお疲れ様でした。



平成23年 クリスマス会

昨年12月23日、ストリームにてクリスマス会を開催しました。

入所、通所の利用者様、御来賓の皆様、寒い中のたくさんのご出席ありがとうございました。皆様のおかげで明るい賑やかなクリスマス会となりました。

イベントでは藤蔭高校ブラスバンド部・日田高校チアガール部・手品・歌・託児所メーテルの踊り、最後はサンタが登場し子供達や利用者様にプレゼントを配ってくれました。

また来年のクリスマス会もお待ちしています！



日田漫歩 ③⑧

悪郡代？ それとも…



檀原 義 則

これほど毀誉褒貶の落差が大きい人も、そう
そういないだろう。

「塩鯛は 元のブエン（生魚）に立ち返れ
塩が辛うて 舌（日田）がたまらん」。友人の
川浪鋭司君が、こんな狂歌を紹介してくれた。

「塩谷の評判はすこぶる悪いですね」

「塩鯛」こと塩谷大四郎（1769-1836年）は西国筋郡代（着任時は代官）として文化14年（1817）年から19年間、日田にいた。ある取材に関連し、次の話を耳にした。

文政13（1830）年、北友田の筑後川。

目の不自由な女旅芸人「ごぜ」2人が乗る渡し船が棹を流して転覆。村人たちが助け上げたが陣屋に呼び出された。「郡代が庇護するごぜを危ない目に遭わせ、打ち首では」とこわごわ出頭すると、郡代は救助を賞賛。「その辺りに神仏の祠か何かないか」と尋ね、村人は大明神岩=写真=がある、と答えた。郡代は「そのご加護に相違ない」とお供え用の田畑を買う5両

を下賜し、岩をまつるよう命じた。

広瀬資料館の原田俊隆館長の見方は。

「塩谷は広瀬久兵衛らに命じ、小ヶ瀬井路や通船、各地の新田開発など公共土木事業に邁進したが公金は使わず、豪商や村々に費用や賦役を押しつけた。その苦しみが、狂歌の背景」。

「しかし」と続ける。「多くの農民を潤し、凶作対策の陰徳倉や盲人養育田設置などにも尽くした。治績を再評価すべきです」

塩谷は民衆の恨みを背に1835年、江戸に召還された。途中大阪の船番所で「蓄財の千両箱では」と多くの荷物を改められたが、中身は小石だらけ。潔白だった。貧相な出で立ちでは幕府の権威にかかわる、と考えたらしい。

幕府財政の逼迫の下、能吏で酷吏、反面「いい行政マン」でもあったようだ。悪評は、わが淡窓先生との折々の不仲も一因？



経歴：毎日新聞記者。鹿児島支局長、経済部長、編集委員を経て2000年4月、日田赴任。

かんたんレシピ no.4 リメイク茶碗蒸し

【材料】材料2人分

お正月のおせち・煮物の残り…適量
卵…1個 ゆで銀杏…適量なくてもok
三つ葉…適量

- ① だし汁200ml
醤油…小1/3
みりん…小1/2
塩…少々(お好みで)



【作り方】

1. ボウルに卵を入れ白身を切るようにしてよく混ぜる。
①の調味料を加え卵液を作り裏ごしします。
 2. 煮物を1cm角に切ります。
 3. 飾り用の煮物を別にし、器に煮物と銀杏を入れ卵液を入れ、そっとかき混ぜます。
 4. 蒸して完成！中まで火が通ったか串をさして確認してください。
- おせち料理にはかかせない、煮物(お煮しめ、筑前煮等)の残り物で作ったリメイク茶碗蒸しです！

編集後記

聖陵会の委員会活動は2年間の任期があります。広報委員会でも2年間同じメンバーで宇宙の制作に取り組んできました。素人ながら、皆さんの為になる情報や聖陵会の色々な出来事を分かりやすくお知らせしようと活動してきました。少しでも「面白いなあ♪」とか「ほ～！なるほど！」とっていただけたら幸いです。次号からは新メンバーになりますので、また新たな『宇宙』がお届けできると思います。どうぞお楽しみに☆



医療法人 聖陵会

- ホームページ <http://www.seiryu.or.jp/index.html>
- E-mail seiryu@seiryu.or.jp

救急指定 聖陵岩里病院

介護老人保健施設 聖陵ストリーム

居宅介護サービスセンター

訪問介護サービスセンター

こども発達・支援センター銀河

聖陵花月クリニック

アンコール小児病院(カンボジア)